

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名		シップリサイクルに関する総合対策		担当部局庁	海事局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		H19～		担当課室	船舶産業課		課長 今出秀則	
会計区分		一般会計		施策名	36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		船舶の解体(シップリサイクル)に係る安全確保及び環境保全のための新条約「2009年の船舶の安全かつ環境上適正な再生利用のための香港国際条約(仮称)」が2009年5月に採択されたことを受け、同条約の早期発効に向け、国際海事機関(IMO)における関連ガイドラインの策定、国内における条約執行体制の整備等を推進し、もって国際的な安全で環境に優しいシップリサイクルシステムの構築を図る。また、世界に先駆けて先進国型シップリサイクルシステムを構築し、国内における大型船のリサイクルの環境整備を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		国際会議において、条約に関連するガイドラインの採択をするとともに、先進国に求められる安全・環境レベルを維持しながら事業として成立するための効率的な解体手法及び工程管理手法の確立や地域の自主的な事業参入を可能とするための事業運営スキームを検討し、国内外における指針等の策定を行う。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算の状況	当初予算	7	10	19	19	13
			補正予算	299	0	0	0	
			繰越し等	0	299	0	0	
		計	306	309	19	19	13	
		執行額	7	308	16			
執行率(%)	2.3%	99.8%	85.9%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
		本施策は条約の早期発効に向けたものであるため、成果目標及び成果実績を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		本施策は条約の早期発効に向けたものであるため、成果目標及び成果実績を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト				算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	(本省)				調査内容を精査したことにより、調査費を縮減したため。			
	諸謝金		1	1				
	職員旅費		5	4				
	委員等旅費		0	0				
	海事産業市場整備等推進調査費		12	8				
	(地方)							
	海事産業市場整備等推進調査費		0	0				
計		19	13					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	条約の早期発効に向けた取組や指針の策定など国が主体となるべき事業について実施した。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業の実施にあたり、事業計画を厳密且つ公平に審査し、合理的な執行を行ったところ。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当初予定していた活動目標と同程度の成果を得た。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	外部支出は、調査内容について公平な審査を行い、予算を効果的に執行した。今後も、調査内容を精査するなど、効果的な予算執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	ニーズの高い調査を優先するなど、事業の重点化を図るよう改善すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	調査内容を精査し、優先度の高い調査に焦点を絞る等、効率的な予算執行とする。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	352	平成23年行政事業レビュー	327

※平成23年度実績を記入

国土交通省
17百万円

国内における先進国型のシッ
プリサイクルシステムを確立

旅費、謝金、委員等旅費
6百万円

【企画競争】

A. (株)日本海洋科学
11百万円

安全・環境レベルを維持しな
がら事業として成立するた
めの効率的な解体手法及び工
程管理手法の確立や地域の
自主的な事業参入を可能とす
るための事業運営スキームを
検討するための調査

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)日本海洋科学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査実施人件費	3			
旅費	調査実地旅費	1			
試験費用	解体実証試験試験、材料摩耗試験費用	6			
その他	物品購入費、諸経費等	1			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本海洋科学	シブプリサイクル事業における効率的な解体手法及び工程管理手法並びに官民連携等の事業実施手法に係る調査	11	随契(企画競争)	99.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					